

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援 松代教室		
○保護者評価実施期間	令和8年2月1日		令和8年2月25日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	10人	(回答者数) 6人
○従業者評価実施期間	令和8年3月1日		令和8年3月7日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	10人	(回答者数) 10人
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年3月20日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	児童発達支援と放課後等デイサービス、両方のサービスを一つの事業所で行っているため、幼児から小学校へ上がってもそのまま継続して関わることができます。また、高校生まで幅広い年齢層の子どもたちが利用しており、高学年向けの同系列教室と密に連携を取っているため、安心して教室の移行をしやすい環境を作っています。	着席課題・運動の活動プログラムが固定化しないように工夫しています。また、職員間で進捗状況の共有や意見を出し合いながら活動プログラムを考えることにより、子どもたちの特性や課題に考慮した活動プログラムを提供しております。	平日の活動プログラムでは、集団療育だけではなく、個々に合わせた課題や苦手感などに、より目を向けられるような療育の提供を目指し、個別配慮や支援を行っています。
2	運動では児童の動きを専門職が観察し、分析して運動を立案し、児童の発達段階に応じて課題を調整しています。また、つなぐでは個々の苦手感を少なく出来るよう能力に応じてスマールステップで行っています。「できた!」をひとつでも増やし、達成感に満ちた運動を行っており、子どもが達成感を味わい成長を実感できています。	運動に特化した専門職が児童一人一人の能力や課題を把握し、個別や集団で行う運動課題を細かく節節化します。それにより児童の考察を立案し、苦手な部分を見極めアプローチしています。一つずつ課題をクリアしていく事で自信に繋げ、個別や集団の中で楽しく運動を行っていきけるように促していきます。	児童発達から放課後デイサービスへと移行支援が出来ることです。職員間で日々の成長を共有し、個々に応じたステップを踏めるようにしています。保護者の希望、必要性に応じて同教室で行っている土曜、祝日の運動コースに参加を促しております。
3	日頃から子どもの状況を保護者に伝え合い、子どもの成長や課題について共通理解をすることができています。	参観日を設けお子様の様子をみて頂く機会を設けています。また、連絡帳及び送迎の際に日頃から保護者とお子様の様子を共有し合うことで変化や成長を感じて頂いています。保護者のLINEや連絡帳に写真や動画を送っています。	保護者から家庭や園での様子をヒヤリングし、その都度悩み事や困りごとがあった際には面談、家族支援や個別サポートなどの取り組みを行っています。またその内容は職員間でも共有し、どの職員が対応しても一貫した指導ができるようにしています。その都度悩み事や困りごとがあった際には家族支援や個別サポートなどの取り組みを行っています。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保育所や認定こども園、幼稚園等との情報連携し取り進む機会がない。 就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図れていない。	保護者の方の声を通じて、園での困り感を教えていただくことやどういう方向で支援していったら良いかの聞き取りなどはありませんが、直接園の先生とお話をする機会がありません。過去に支援員の方を通じて担当者会議をする場に参加しました。また、お子様の園によって担任の先生がお見えになった事もありますので、機会があればいつでも情報共有していきたいと考えております。	送迎時、園の先生が可能であれば積極的に情報共有していきたい、送迎のない場合には保護者の方を通して様子を共有しながら、今後の取り組みとして訪問支援の土台作りができるようにしていきたいと考えております。
2	児童発達支援の保護者同士の交流が少ない。 きょうだい向けのイベントを開催していない。	就学前の保護者に対しましては、放課後等デイサービスをご利用している保護者の方との交流の場を設け、就学の不安の相談ができるようにしています。 対象とされる保護者の方がありません。また、仕事をされている方が多いので、今のところ要望もありません。	今後必要と感じている保護者の依頼があった場合に開催致します。その際には、参加しやすい曜日や時間帯、参加してみたい内容等、保護者の意向を取り入れていきたいと思っております。
3			